

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. _____

調査河川名	諏訪川(関川) (水系)		
調査地点名	岩本橋		
調査団体名			
代表者名	参加人数	11 人	
連絡先住所	〒 電話: - - ()		
調査年月日	令和8年7月24日	調査時間	8時50分～9時20分
調査日天候	晴れ	気温	31.6 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24.1 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5～8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.6点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらた 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② すなどろ 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.4点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

水質環境評価階級					
階級	No. 指標生物名	I	II	III	IV
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○			
	2. ナガレトビケラ類				
	3. ヒゲナガカワトビケラ				
	4. チラカゲロウ	○			
	5. 携巢性トビケラ類	●			
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ				
	7. ヒラタカゲロウ類	○			
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)				
	9. ヘビトンボ類				
	10. マダラカゲロウ類		●		
	11. タニガワカゲロウ類		○		
	12. ブユ類・ガガンボ類		○		
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ				
	14. ヒラタドロムシ			○	
	15. コカゲロウ類			○	
	16. コガタシマトビケラ			●	
	17. ユスリカ類(白・緑)			○	
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				
	19. サホコカゲロウ				
	20. ミズムシ(等脚目)				
	21. ヒル類				○
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
	23. イトミズ類				
	24. セスジユスリカ(赤)				○
	25. ホシチョウバエ				
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	4	1
	最も多い種の数(●)	1	1	1	0
	得点の合計	5	4	5	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I			

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。